

今面白いと思うことに全力で取り組もう

セコム(株)IS研究所主務研究員

キッズデザイン協議会 理事・研究開発部会長

舟生 岳夫 氏 (高校39期)

プロフィール

1988年 一浪後、東京理科大学 理工学部電気工学科に入学
1992年 東京理科大学大学院 理工学研究科電気工学専攻へ進学
1994年 セコム株式会社に就職 IS研究所ロボット研究室に配属
2002年 セキュリティコンサルティンググループ(現リスクマネジメントグループ)立ち上げに伴い大きく仕事の内容が変化
2005年 子どもの安全を主体とした活動開始
2006年 子どもの安全ブログを開始、キッズデザイン協議会理事就任



■現在の仕事



セコム株式会社で子どもの安全に関する調査研究と啓発活動を中心に働いています。セコムという
と警備会社というイメージがあると思いますが、メインのセキュリティ事業以外にも情報通信や医療・
福祉、防災、保険など様々な事業を手掛けています。

私は子どものころから本の虫で、暇さえあれば本を読み漁っていました。
中でも特にロボットの出てくるSFが大好きで、将来はロボット工学者になるのが夢でした。
そして高校卒業後、大学で電気工学を学び、大学院ではマイクロマシンの研究などを行ってきました。
その後、ロボットの研究ができる会社を探したところ、セコムで当時先端的な警備ロボットの研究をし
ていることを知り、就職を決めました。

しばらくはエンジニアとしてロボットとそのCGシミュレーションの研究をしていましたが、その当時子どもが被害に遭う事件
が多発しており、私も父親となって子どもの安全についての関心が高まっていました。
そして新しい研究グループの立ち上げとともに移動し、子どもの安全をメインに担当することになりました。



小学校に直接伺って行う安全教室や防犯絵本の監修などからはじめ、
より多くの人に子どもの安全対策を伝えるためにブログもスタートしました。

[子どもの安全ブログ](#)

現在は書籍の執筆・監修や、各所で保護者や教職員向けに子どもの安全に関する
講演などを行うほか、子どもの安全・安心や健やかな成長・発達、産み育てやすい
社会づくりを目指す「キッズデザイン協議会」でも積極的に活動しています。

[キッズデザイン協議会](#)



■私の立高時代

正直言って、立高祭とテニス部に明け暮れた日々でした。

今は残念ながら終了してしまいましたが、白馬さのさかの神城山荘で毎年行われていたスキー教室に参加し、先輩方に優しく
楽しく教えてもらったおかげで、スキーにもどっぷりはまりました。

大学に進んでも、立川高校のスキー教室の小屋番(神城山荘で高校生たちのスキーの指導から、食事、生活のお世話まで行
う常駐スタッフ)になり、毎年40日以上、スキーに明け暮れる日々を送りました。

ただ、高校大学を通してこれだけ遊びまくった中で、人間としての基礎が形作られ、今の人生に最も大切な仲間を得たこは最大
の宝物です。

■将来の進路に悩んでいる君たちへ

自分に本当に何が向いているのかなんて、正直なところ誰にもわかりません。

私は子どもの頃からロボット工学者になりたいと夢見て、ロボットの研究職に就き、まさに天職だと考えてい
ました。

しかし、どういうわけか今やっていることは社会学です。

でも、結果的に自分の興味・関心とやりがいの凝縮した活動となり、今はこれがまさに天職と言えます。

つまり、今から何が自分にとって一番いい仕事、いい人生なんだろうと悩むよりも、今、面白いと思うことに
全力で取り組むことが大事なのだと思います。

途中でもっと面白そうなことが見つかったら、またそちらに全力で進んでみてください。
視野を広げ、失敗をおそれず前向きにチャレンジを続けていけば、きっと道は開けます。
頑張ってください！

